

2020年10月15日
発行

No.
82

発行人 謙訪 榮治郎
編 集 スタッフ一同

カトリック大阪教会管区
カリタス大船渡ベース 地ノ森いこいの家

大船渡だより



地域のイベントや活動紹介

敬老のお祝い in 大船渡教会

9月20日(日)、大船渡教会のミサのあとに敬老のお祝いがありました。

9名の75歳以上の方が祭壇の前に並び、一人ひとり神父様から祝福を受け、教会から素敵なカレンダーのプレゼントが贈られました。信徒の皆さんからは温かな拍手が送られました。

お祝いされた皆さんは、教会の様々なことなさっている方々です。日頃から、「元気でいるうちは自分のできることをしっかりやりたい。」と仰っていたとき、また、次の担い手が受け継ぎやすいようにお考えになっておられていてとても心強いです。

新型コロナウイルスが流行する以前は、ミサ後にホールで賑やかにお茶っこをしていましたが、現在は速やかに帰る方が多いです。ホールには水分補給の為、飲み物と紙コップが用意されています。この日はお祝いされた皆さんが少しの時間、歓談しました。一人暮らしの方は、嬉しそうにお喋りを楽しんでいました。

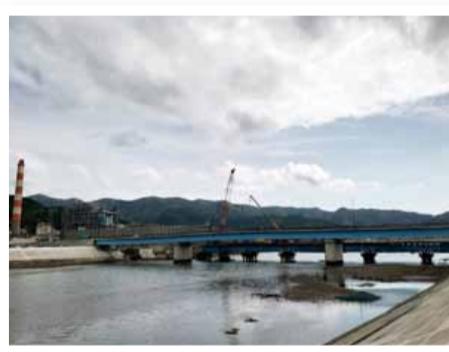
1年1年、体の変化を感じ、「ゆるぐない。」と仰りながらも教会へいらっしゃる皆様が、この1年も健やかでありますようお祈り申し上げます。



生まれ変わっていく町



大船渡教会からの景色



新旧川口橋

大船渡の町の復旧復興の工事が着実に進んでいます。カトリック大船渡教会の下のコンビニのある十字路交差点も通行止めになり、嵩上げされ、平らになってきました。震災前から大雨が降ると冠水する場所でしたが、それも解消されるごとでしょう。

大船渡町の湾を挟んで対岸にある赤崎町に向かう、盛川に架けられていた川口橋。震災で大津波が発生した時、上流に大きな船が流れ着いていたのに壊れていなかった橋…津波の高さがこの橋を超えた高さだったのです。盛川の防潮堤工事も進み、国道45号線に直結する道路に続く新川口橋も完成し、旧川口橋は解体工事が進んでいます。

被災して長い間、仮店舗で営業を続けていた岩手銀行大船渡支店も立派な新社屋が完成しました。

震災から9年7ヶ月。あの壊滅的だった町が、きれいに便利に生まれ変わってきています。新生大船渡の様子を、支援してくださった方々、ボランティアに来てくださった方々に是非見ていただきたいです。

大船渡市の元中心地の様子 (2020/10/11 撮影)



ボランティア 登録者数

男性 678人

女性 1391人

⇒ 合計 2069人

◆9月1日～9月30日
ボランティア数

男 性：0 名

女 性：0 名

新型コロナウイルス感染予防のため、
当分の間、ボランティアさんの受け入れ
を中止とさせていただきます。

2020年9月1日～30日の活動紹介

新型コロナウイルス感染拡大に留意しながら『玄関先訪問』・『買物送迎』・『手芸サロン』・『カリタスサロン』を行っています。『個人依頼』は依頼ごとに検討し対応しています。

NHKから取材を受け『手芸サロン』でのパステルアートの絵手紙作りの様子を放送して頂きました。地域の方々との絵葉書の作成、送付、『町の様子』の取材も継続し、ブログ、facebookで紹介しています。

- 11日 カリタス釜石にて出張サロン『パステルアート』
- 12日 おはなしろりん『体操や読み聞かせ』
- 18日 まちの保健室主催『元気度アップ教室』

<ベースからのお知らせ>

- カリタス南三陸と共に『東日本大震災応援ツアー2020』は今年度は中止とさせていただきます。
- 県内にお住まいの方には被災地見学のご案内を致します。お問い合わせください。